

事 務 連 絡
令和8年4月24日

教育庁保健体育課
学校安全・給食班 御中

沖縄県保健医療介護部
薬務生活衛生課薬務班

海洋危険生物（オニダルマオコゼ）による被害防止のための
注意喚起について（依頼）

平素より、本県の海洋危険生物による被害防止対策の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般、県内北部の遊泳禁止区域の海岸において、10代の男子生徒2名がオニダルマオコゼに刺傷される事案が発生いたしました。

オニダルマオコゼをはじめとする海洋危険生物は、浅瀬やサンゴ礁、岩場などに広く生息しております。特にオニダルマオコゼは岩や海藻に擬態しており発見が非常に困難である上、背びれに強力な毒腺を持っています。誤って踏みつけるなどして刺された場合、激しい疼痛や腫脹を引き起こし、重症化すると呼吸困難や心肺停止に至る極めて危険な生物です。

これから気温が上昇し、児童生徒が遠足や学習活動、休日のマリレジャー等で海や海岸周辺に出かける機会が増加することが予想されます。

つきましては、児童生徒の生命と安全を確保するため、貴庁におかれましては、所管する県内各学校及び関係機関に対し、下記の事項について周知徹底を図り、海洋危険生物による被害防止に向けた注意喚起を行っていただきますようお願い申し上げます。

記

1. 周知及び注意喚起をお願いしたい事項

（1）危険性の周知

オニダルマオコゼやハブクラゲなど、身近な海に潜む危険生物の存在と特徴について

児童生徒や保護者等へ周知すること。

（2）安全対策の徹底

遊泳区域内で遊泳すること。

海に入る際や磯遊びの際は、素足やビーチサンダルを避け、底の厚いマリンシューズ

等を必ず着用すること。

肌の露出を減らすため、ラッシュガードやウェットスーツ等を着用すること。

海中や岩場にいる見慣れない生物に、むやみに触れたり近づいたりしないこと。

(3) 緊急時の対応

被害に遭った際は、速やかに周囲の大人に助けを求め、救急車を呼んで、直ちに医療

機関を受診すること。

痛みが強い場合は患部を 40 度程度（やけどしない温度）のお湯につけること。

2. 添付資料

【別紙】オニダルマオコゼに気をつけて（作成：沖縄県衛生環境研究所）

【連絡先】 薬務生活衛生課 薬務班
担当：赤嶺、泉水

TEL：098-866-2055

FAX：098-866-2723